

令和7年度 和光市みなみ保育園における
自己評価(園の評価)

5, とてもよい 4, まあまあできている
3, ふつう 2, あまりできていない 1, まったくできてない

項目	内 容	評価	根拠・改善方法
1, 人権尊重	①こどもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てる保育をしているか。 ②こどもの名前を呼び捨てにしないか。 ③こどもの身体に乱暴に触れないか。 ④否定的な言葉や、脅すような言葉を使っていないか。 ⑤保護者の国籍・思想・宗教により、また、こどもの性差・障害・個性差によって区別、差別していないか。	4.3	・保育倫理に関しての重要な項目が職員間に浸透してきている。また、昨今課題とされている「不適切保育」に大きくかかわる項目であることで意識は高く保たれている。
2, 説明責任	理念や基本方針、保育内容を利用者に周知しているか。	3.4	・入園時には、入園のしおりや重要事項説明書を用い説明し、その後はコドモン(ICT)の資料室でいつでも閲覧できる状態にし、クラスの懇談会等でも定期的に周知している。
3, 情報保護	利用者の個人情報を適切に取り扱っているか。	4.2	・こどもの個人情報等は必要な情報のみ職員に周知し、文書についてはファイリング等で管理している。 ・保護者から提出された書類に関しては内容、受取者を明確にし、收受の際には提出者、受取者共にサインをもらうことを徹底している。
4, 苦情処理	①保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応しているか。 ②園の苦情解決システムについて理解しているか。	3.4	・苦情用窓口や苦情用専用メールアドレスを設置している。苦情や悩みを聞いた時は、担当職員間で速やかに協議し、保護者と面談等の対応をし解決するよう取り組んでいる。
5, 食育	①食育を通して、こどもたちが食事を楽しむことができる工夫をしているか。 ②こどもの食生活を充実させるために、家庭と連携しているか。 ③食物アレルギーの他、文化、習慣の違い等、個別に配慮した食事を提供し職員同士の確認ができているか。 ④食や食材に興味を持てるよう、年齢に応じた働きかけができているか。	3.7	・食育年間計画を作成し、クッキングや栽培等を行っている。 ・給食サンプルの展示で実物を見てもらい、保育参加では希望者には給食の提供も行い、味付けや調理形態等保護者に味わってもらうようにしている。 ・食物アレルギー児や、外国籍児が多数在籍しているが、確認作業を怠らず、意識を高く持ち保育を行っている。
6, 健康支援・衛生管理	①保育中のこどもの健康管理は、マニュアルなどがあり、こども一人ひとりの健康状態に応じて実施しているか。 ②内科健診、歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させているか。 ③感染症発生時のマニュアルに沿って対応しているか。 ④感染症の発生状況を保護者に周知しているか。 ⑤午睡中に呼吸・姿勢・顔色の確認を行っているか。	3.8	・流行時はコドモン(ICT)にて全体に速やかに周知し、該当家庭に対しても個別に連絡を取っている。 ・コドモンを活用し検診の結果等を通知し保護者と情報を共有している。
7, 環境・安全管理	①事故防止のチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っているか。 ②施設内外、設備の安全点検を定期的に行っているか。	3.5	・事故防止については、軽微なものに関してはヒヤリハット報告書に記入して職員間で情報共有をし、重大事故につながらないようにしている。 ・月毎の危険箇所の点検・年1回の遊具点検を行い、修繕が必要な場合は速やかに対応している。
8, 災害への備え	①園内にある備蓄品の把握ができているか。 ②避難訓練(火災、地震、不審者等)は役割や状況に応じた実践的な対応ができているか。 ③みなみ保育園業務継続計画について理解しているか。	3.3	・定期的(年2回)に備品の点検を行っている。 ・避難訓練に関しては法令に則り毎月実施している。 ・みなみ保育園業務継続計画に関しては職員・保護者への周知に努めた。引き続き周知に努めていく。

項目	内 容	評価	根拠・改善方法
9, 子育て支援・地域との連携	①一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、信頼関係を作っていけるよう努力しているか。 ②家庭の状況や、保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているか。 ③こどもの発達や育児等について、懇談会等の話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けているか。 ④地域との関係が適切に確保されているか。(運営委員会、子育て支援センター、遊ぼう会等)	3.6	・コドモンの連絡ノート機能や、送迎時に日常の様子等の情報交換を行っている。 ・懇談会や定期定な面談に加え、必要に応じて個別に面談を行っている。 ・遊ぼう会や見学等を通して、園児以外の子育て家庭の悩み相談等にも対応している。
10, 地域包括ケアシステム	①虐待を受けていると疑われるこどもの早期発見に努め、得られた情報が園長まで届くようになっているか。 ②虐待を受けていると疑われるこどもの保護者の対応について児童相談所・地域包括ケア課等の関係機関に照合、通告を行う体制が整っているか。	3.7	・発見時の通告の体制は整っている。 ・こども家庭支援課との連携を密に取り、最善の注意を払うよう努めていく。
11, 2 小学校からの連携・3 幼稚園・への移行	①小学校との間で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などが行われているか。 ②卒園したこどもの情報を得るように努めているか。 ③2歳児から2歳児の進級時は、特に大きく環境が変わる為、十分配慮しこどもや保護者の気持ちに寄り添っているか。 ④転園児に対して、各施設からの情報を共有・重要事項は園内で共有しているか。	3.3	・幼保小連絡協議会や事業者との報告会を通じて連携体制を密にしている。 ・小学校との連携の項目は該当する職員が少ないためか平均は低い傾向にあるが今後意識を高めるためにどうしたらよいか考えていく。 ・小規模等他園からの転園児は入園前に前事業所職員と引継ぎ(書面又は面談)を行うとともに、6月頃に保護者と個人面談を行い、園児・保護者の負担軽減ができるように工夫している。
12, 多様な児童への配慮	①環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られるか。 ②環境や保育内容、スケジュールに必要な調整がされ、障害を持つこどもが他のこどもと一緒に多くの活動に参加しているか。 ③障害のあるこどもの保護者と情報交換し、目標を設定したり保育内容についてのフィードバックを行ったりしているか。 ④個別に支援計画を立てる、園内ケア会議を開く等、適切な配慮と支援を行っているか。	3.7	・個別の支援計画を作成し、ケアマネージャーや療育施設、保護者を交えての担当者会議を行い、目標を共有している。 ・園内でのケア会議を通し、職員間での情報共有を行っている。
13, 職員の資質向上	①日常的に保育の振り返りや、記録の共通認識ができているか。 ②研修を通して、資質向上の取り組みを行っているか。 ③保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけているか。 ④自らこどもや教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしているか。 ⑤社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしているか。	3.7	・市内全体研修や、埼玉県等主催の研修へ参加をし、保育士としての研鑽を積んでいる。

項目	内 容	評価	根拠・改善方法
12, 保育内容	(1)【基本的生活習慣の確立】 ①食前食後の衛生面での準備ができているか。(手洗い、テーブルの清掃など) ②こどもが自分でしていることを見守り、必要に応じて支援しているか。 ③こどもが食前食後の挨拶ができるように働きかけているか。 ④こどものペースに合わせ、和やかな雰囲気の中で食事ができるようしているか。 ⑤嫌いな食べ物も本人が食べようという気持ちになるよう、丁寧に働きかけているか。 ⑥スプーンやお箸の持ち方、姿勢が保てるよう、必要に応じて支援しているか。 ⑦排泄の後始末・手洗いなど自分でしていることを見守り、必要に応じて丁寧に支援しているか。 ⑧身のまわりの片づけや着替えが自分でできるように働きかけているか。 ⑨睡眠は個々の状況に応じ、落ち着いて休息できるよう配慮しているか。 ⑩ある程度の休息は取れるよう促し、眠くないこどもは無理に寝かしつけていないか。 (2)【保健衛生・安全】 安全について年齢にあった知識が身につくようにわかりやすい言葉で伝えているか。 (3)【基本的なこどもとの関わり】 ①言葉かけは肯定的でこどもの思いに寄り添ったものであるか。 ②こどもの目線に合わせて話をし、大声を出すなど遠くから呼んでいないか。 ③こどもの言葉や思いを聞き、受け止めているか。 ④注意深くこどもを見ており、一人と関わっている時も全体に注意を向けているか。 ⑤必要に応じてこどもを助けたり励ましたりしているか。 (4)【内容】 ⑥保育士として社会的に良いやりとりの見本になっているか。 ⑦こども全員に仲間同士の肯定的なやり取りが生まれるように配慮しているか。 ⑧一日を通して温かな声掛けや雰囲気ですべて接しているか。 ⑨必ず声をかけてからこどもに関わっているか。 ⑩いつもこどもの感情や反応を敏感に感じ取り、その時のニーズに応じたやりとりをしているか。 ⑪こども同士の問題を解決するのに、話し合いができるように援助しているか。 (5)【遊び】 ①こどもが自発的に遊べるような空間や時間が保障されているか。 ②年齢、発達に合わせた遊具を用意しているか。 ③おもちゃは決まった場所に整理され、発達に応じて入れ替えられているか。 ④手や指を使って遊ぶのに適切なおもちゃが量・種類とも適量あるか。 ⑤遊びのコーナー分け(積み木・ままごと・絵本・机上)ができている、物が系統的に収納されているか。 ⑥遊んだ後、元の場所へ片付けるよう促しているか。 ⑦生活の中で比べる、数えるなど形や数に親しむ活動があるか。 ⑧日常的に自然や生きた動植物に接する機会があるか。 ⑨こどもの使える楽器があり、楽しんで取り組めるようにしているか。 ⑩歌やふれあい遊び、わらべ歌などでこどもと遊んでいるか。 ⑪年齢、興味、関心にあった絵本を用意しているか。 ⑫こどもの描画・制作活動にふさわしい材料を用意しているか。 ⑬教材を用いて個性的な表現ができるようにしているか。 ⑭棚やおもちゃは衛生的で、修繕が必要な場所は報告し、簡易的な物は自分で直す、危険を回避する応急処置等しているか。 ⑮一人で落ち着いて遊べる空間、少人数でこじんまり遊べる空間があるか。 ⑯こどもが自ら遊びたいと思えるような働きかけをしているか。 ⑰こどもの作品が飾られているか。 ⑱体を使って遊ぶ遊具や設備を活用しているか。 ⑲戸外でこどもが快適に過ごせる環境を整えているか。 ⑳遊具はある程度数がそろっており、整理整頓されているか。 ㉑一人ひとりのこどもの遊びを保障し、他児への関心を促しているか。	3.9	・自己肯定感が持てるような言葉かけや働きかけを意識しながら保育を行っている。 ・自主性や主体性を尊重することを意識し、個々のペースに合わせ、ゆとりを持った関わりを心掛けている。 ・発達や家庭状況に合わせ保護者に寄り添いながらこどもの育ちを共に喜べる環境作りを行っている。 ・行事に関しての考え方を職員間で共有している。 ・日々の保育からの連続性を大切にしたり取り組みを意識し行事を行っている。 ・各保育室に遊びのコーナー分け(積み木・ままごと・絵本・机上)を設定し、発達に合わせた環境設定を行っている。